

あさ お く 麻生区

あさ お く かわ さき し なか いち ばん おお のう ち さん りん のこ
麻生区は、川崎市の中で一番多く農地や山林が残されていて、
自然に恵まれている区です。

また、川崎市の中でも比較的新しい街なみが形成されていま
す。では、他の区と何が違うのでしょうか。

み らい す 未来もずっと住みやすいまちであるために ～みんなでまちのルールを決めよう！～

たか たてもの は で いろづか おお かんぼん
高い建物、派手な色使い、大げさな看板・・・ みんなが自由にいろいろなものをつくってしまうと、まちはなんだかゴ
チャゴチャして、魅力がなくなってしまう。そうならないよう、麻生区では、住民が自分たちでルールをつくり、住みやす
いまちを目指しているところがあります。ルールがあるとまちはどうなるのか、その様子をのぞいてみましょう。

たの にぎやかで楽しく、きれいなまちづくり

しん ゆ り が おか えき しゅう へん ～新百合ヶ丘駅周辺～

しん ゆ り が おか えき しゅう へん
新百合ヶ丘駅周辺は、ビルやお店が立ち並び、たくさんの人々に
ぎわっていますが、この辺りは、新百合ヶ丘駅ができたころは、ほとん
ど山や畑でした。

その時、「せっかく新しいまちをつくるのだから、すてきなまちにした
い!」とみんなが思いました。

そこで、建物のつくり方や壁の色、看板のデザインなどについてル
ールを決め、みんなで守っていくことにしました。

ルールがあると、街なみは統一されて、おしゃれなつくりになり、
雰囲気がとてもよくなります。今では「都市景観形成地区」に指定されており、一人一人が約束をきちんと守ること
で、新百合ヶ丘駅周辺はみんなに親しまれるまちになっています。

みんなも駅周辺の建物を観察してみましよう。色合いがなんとなく似ているように見えませんか?建物の高さが
同じように見えませんか?気になったら、どんなルールがあるのか調べてみましょう!



約35年前(1974年)まで、駅前には何もなかったんだね。

看板の大きさが制限されてよ。



新百合ヶ丘駅周辺は、きれいな街なみを表彰されたこともあるんだよ!

建物の色がそろってるよ。



新しくできた駅の北側の住宅街にも、建物のルールがあるよ!

きれいなまちに住みつづけたいよね

～あさお落書き消し隊～

ルールだけでは、キレイなまちを守っていくことはできません。時間がたてば、どうしても汚れが目立ってしまいます。新百合ヶ丘駅周辺では、落書きで汚れてしまったまちをキレイな姿に戻すため、住民が協力して「あさお落書き消し隊」を結成しました。

そのような活動を続けるうちに、「落書きが減って、キレイなまちが戻ってきたね!」という声が、聞こえてくるようになりました。最近では、麻生区全体をキレイなまちにするために、新百合ヶ丘駅だけでなく、隣の駅にも活動を広げています。

住んでいる人たちがまちのために活動することで、将来もすてきなまちをつくることのできるのです。



キレイなまちを守るために、「あさお落書き消し隊」はがんばっています。

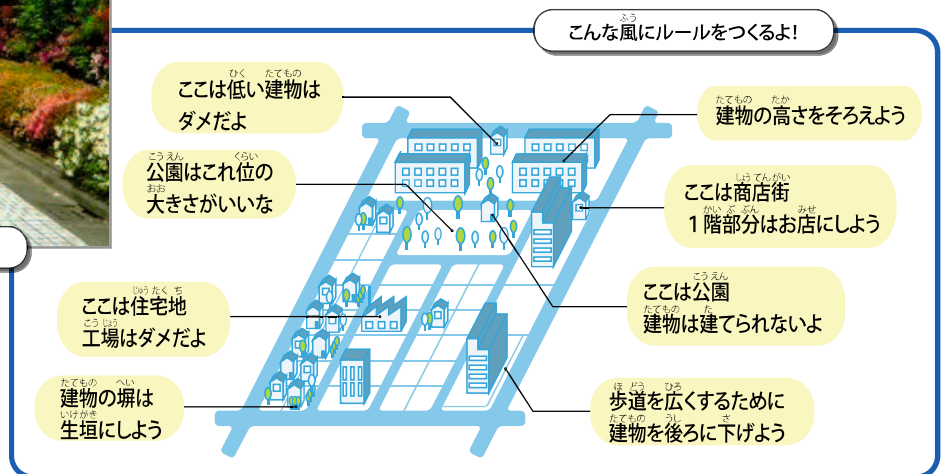
みんなが住んでいる住宅街にだってルールがあるよ

～地区計画・建築協定～



建物の高さや生垣がそろってるよね。

まちのルールは駅前だけではありません。みんなが住んでいる住宅街だって、地区にあわせたルールをつくることができます。ルールをつくるためには、みんなのいろいろな意見が必要です。



まちづくり事例だよ!

「静かな環境で暮らしたいな」、「緑の多いまちにしたいな」、「あまり高い建物はないほうがいいな」... みんないろいろな思いはあるけれど、やはり快適なまちに暮らしたいですよね。では、どういうまちが快適でしょうか。そのためにはどういうルールが必要でしょうか。

たくさんの意見をまとめて、答えを探すのはとっても大変だけど、それを乗り越えてみんなと一緒に考え、守っていくことが大切です。まちにはみんなの協力和努力が欠かせません。